

【表紙】

【提出書類】 有価証券届出書の訂正届出書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年7月25日

【発行者名】 東京海上アセットマネジメント株式会社

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 横田 靖博

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内一丁目8番2号

【事務連絡者氏名】 尾崎 正幸

【電話番号】 03 - 3212 - 8421

【届出の対象とした募集(売出)東京海上・宇宙関連株式ファンド(為替ヘッジあり)
内国投資信託受益証券に係るファ
ンドの名称】

【届出の対象とした募集(売出)上限 1兆円
内国投資信託受益証券の金額】

【縦覧に供する場所】 該当なし

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2022年4月7日付をもって提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について、マザーファンドの運用委託先の変更に伴い、新たな情報の更新および原届出書記載事項の一部に訂正すべき事項があるため、本訂正届出書を提出するものです。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は、原届出書が更新されます。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<更新後>

(略)

ファンドの特色

1

日本を含む世界の取引所に上場されている株式等の中から、成長が期待される宇宙関連企業の株式等に投資します。

- 宇宙関連企業とはロケット等の輸送機や衛星の製造、打ち上げサービス、衛星や地上設備の運営、衛星データを活用した通信・情報サービス、関連ソフトウェア、その他周辺ビジネス等の提供を行う企業をいいます。
- 衛星、ロケット等の宇宙機器製造や衛星を利用したサービス等の宇宙関連産業は、打ち上げや製造等の関連技術の向上に加えて、情報通信インフラの高度化や自動車、産業機器の自動化等のイノベーション(技術革新)の需要が重なり、中長期的な成長が期待されます。

2

銘柄の選定にあたっては、高い技術力や競争力等を持つ宇宙関連企業と判断する銘柄の中からファンダメンタルズ分析を考慮して行います。

3

宇宙関連企業の株式等の運用は、「ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(ヴォヤIM)」が行います。

ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー

運用拠点:米国カリフォルニア州サンフランシスコ

- ヴォヤIMは、米国の金融会社であるヴォヤ・ファイナンシャルの傘下にある米国の資産運用会社であり、債券運用や複合資産の運用に強みを持ちます。
- ファンドを担当する運用チーム*は、航空宇宙や情報技術関連等の株式運用戦略について豊富な経験を有します。

※担当運用チームは、関係当事者間の合意により、2022年7月25日に宇宙関連企業の株式等の運用の指図に関する権限を委託していた「アリアンツ・グローバル・インベスターズU.S.LLC(アリアンツGI)」からヴォヤIMへ移管されました。なお、ファンドの運用体制や運用方針に変更はありません。

次ページへ続く

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

4

外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図ります。

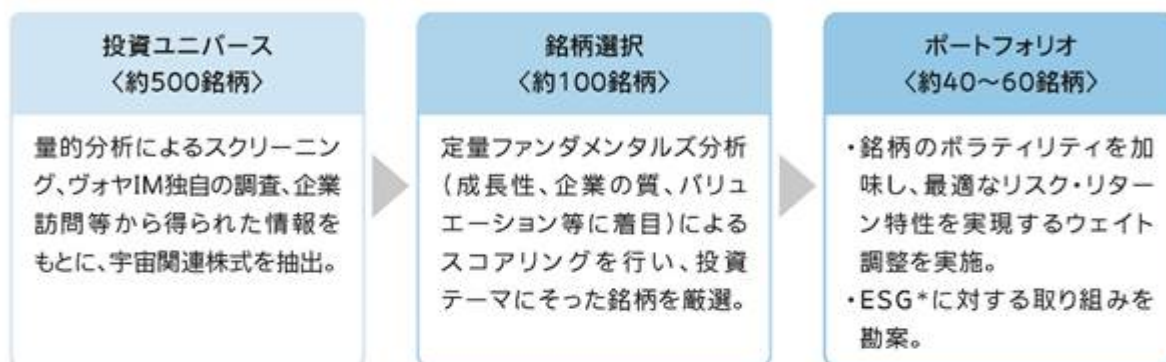
※一部の通貨については、先進国通貨による代替ヘッジを行うため、当該通貨間の変動の影響を受けます。

※為替ヘッジを行うことで、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※一般的に、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、これらの金利差相当分のヘッジコストが発生します。ただし、為替市場における需給の影響等によっては、金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があります。

※ファンドにおける対円での為替ヘッジ取引は、東京海上アセットマネジメントが行います。

運用プロセス



*ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったものです。ESGに配慮する経営を行っている企業は持続的な成長が期待できると考えられています。

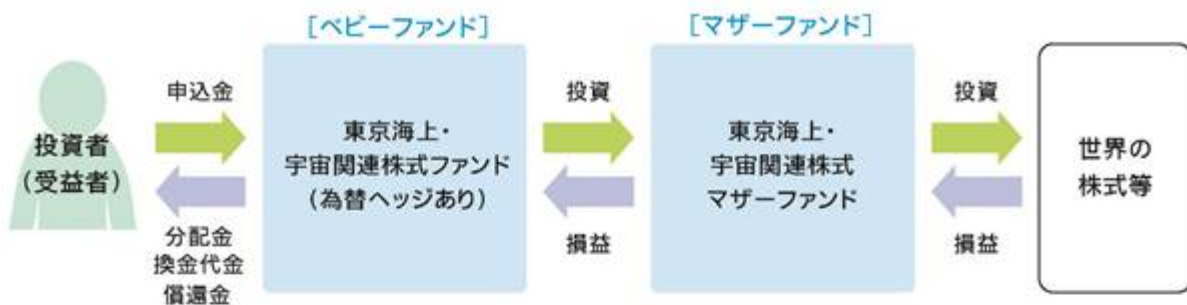
※上記の運用プロセスは、本書作成日時点のものであり、予告なく変更となる場合があります。

次ページへ続く

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドの仕組み

- ファミリーファンド方式により運用を行います。



※マザーファンドにおいて、世界の株式等の運用の指図に関する権限を「ヴォヤIM」に委託します。

※「ファミリーファンド方式」とは、受益者の投資資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドにて行う方式です。ベビーファンドがマザーファンドに投資するに際しての投資コストはかかりません。また、他のベビーファンドが、マザーファンドへ投資することがあります。

主な投資制限

株 式 株式への実質投資割合には制限を設けません。

外貨建資産 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。

分配方針

◎年2回決算を行います。

- 1月および7月の各7日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として次の方針に基づき分配を行います。

分配対象額は、経費控除後の、繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。

収益分配金額は、委託会社が基準価額の水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。

《イメージ図》

決算	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
分配	👛						👛					

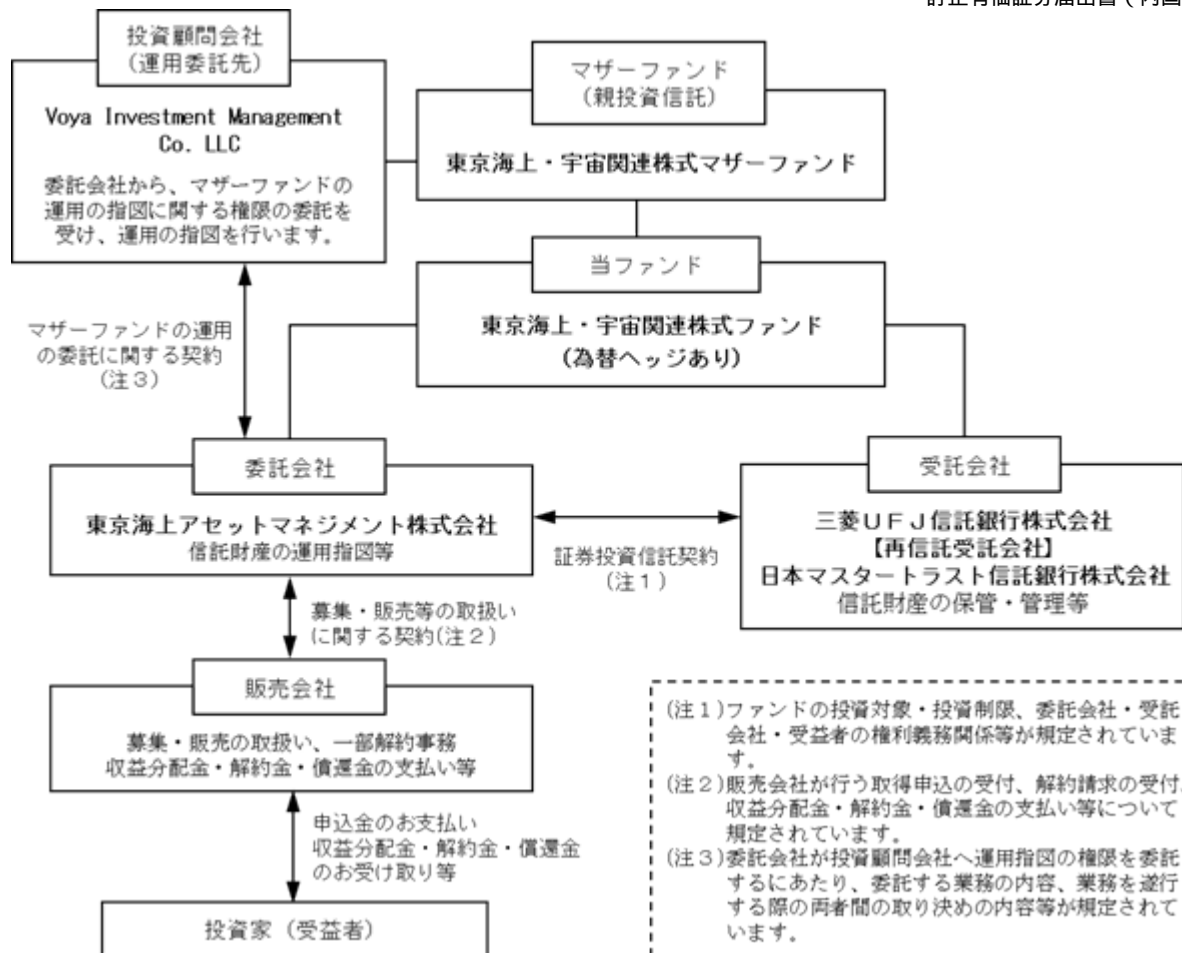
①上図はイメージ図であり、将来の分配金の支払いおよびその金額について、示唆・保証するものではありません。実際の分配金額は運用実績に応じて決定されます。

資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 【ファンドの仕組み】

<更新後>

ファンドの仕組み



(略)

2【投資方針】

(1)【投資方針】

2. 運用方法

(2) 投資態度

<更新後>

主として日本を含む世界の取引所に上場されている株式等の中から、成長が期待される宇宙関連企業の株式等に投資するマザーファンド受益証券に投資します。

当ファンドの運用は、ファミリーファンド方式により行います。したがって、実質的な運用は、マザーファンドで行うこととなります。

Voya Investment Management Co. LLCに、マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託します。実質組入外貨建資産については、原則として、当ファンドにおいて為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図ります。

資金動向、市況動向、残存期間等の事情によっては、上記のような運用ができない場合があります。

<参考情報> マザーファンドの運用の基本方針、主な投資対象と投資制限（要約）

東京海上・宇宙関連株式マザーファンド

1. 基本方針

信託財産の成長をめざして運用を行います。

2. 運用方法

(1) 投資対象

主として日本を含む世界の宇宙関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）に投資します。

(2) 投資態度

主として日本を含む世界の取引所に上場されている株式等の中から、成長が期待される宇宙関連企業の株式等に投資します。

銘柄の選定にあたっては、高い技術力や競争力等を持つ宇宙関連企業と判断する銘柄の中からファンダメンタルズ分析を考慮して行います。

Voya Investment Management Co. LLCに、運用の指図に関する権限を委託します。

原則として、株式への組入比率を高位に維持します。

外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。

3. 運用制限

(1) 株式への投資割合には、制限を設けません。

(2) 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

(3) 新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

(4) 上場投資信託証券等を除く投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。

(5) 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

(6) 同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

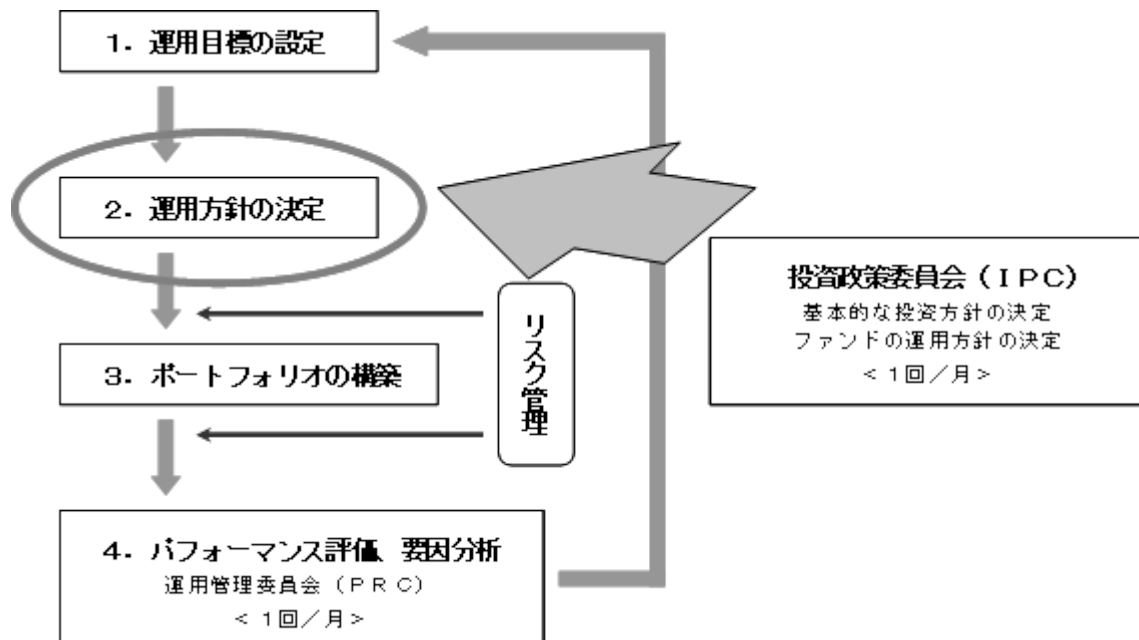
(7) 同一銘柄の転換社債および転換社債型新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

資金動向、市況動向、残存期間等の事情によっては、上記のような運用ができない場合があります。

(3) 【運用体制】

<更新後>

当ファンドの運用体制は以下の通りです。



ファンドの運用に関する社内規則として「投資運用業に係る業務運営規程」を設けております。

運用におけるリスク管理は、運用リスク管理部門（5～10名程度）による法令・運用ガイドライン等の遵守状況のチェックや運用リスク項目のチェック等が随時実施され、担当運用部へフィードバックされるとともに、原則として月1回開催される運用管理委員会（運用リスク管理部門担当役員を委員長に、運用・営業・商品企画などファンド運用に関係する各部長が参加）において投資行動の評価が行われます。（リスク管理についての詳細は、「3 投資リスク」の「3.管理体制」をご参照ください）

この運用管理委員会での評価もふまえて、投資政策委員会（運用本部長を委員長とし、各運用部長が参加）において運用方針を決定し、より質の高い運用体制の維持・向上を目指します。

なお、当ファンドが投資対象とするマザーファンドは「ヴォヤIM」に世界の株式等の運用の指図に関する権限を委託します。委託会社は、運用状況について随時確認できる体制を構築しています。この

ほか委託会社においては、運用委託先および運用再委託先の運用、リスク管理、コンプライアンス、バックオフィスの各機能について定期的に確認を行っています。

また、受託銀行等の管理については、関連部署において、受託銀行業務等に関する「内部統制の整備及び運用状況報告書」の入手・検証、現地モニタリング等を通じて実施しております。

(上記の体制や人員等については、2022年7月25日現在)

4【手数料等及び税金】

(3)【信託報酬等】

<訂正前>

(略)

マザーファンドの運用の委託先である「アリアンツG I」が受ける報酬は、委託会社が受ける報酬から支払うこととし、その報酬額はマザーファンドの純資産総額に対し、年率0.55%を乗じて得た額とします。報酬の支払いは、毎年6月30日および12月31日または信託終了のときに行うものとします。

<訂正後>

(略)

マザーファンドの運用の委託先である「ヴォヤIM」が受ける報酬は、委託会社が受ける報酬から支払うこととし、その報酬額はマザーファンドの純資産総額に対し、年率0.55%を乗じて得た額とします。報酬の支払いは、毎年6月30日および12月31日または信託終了のときに行うものとします。

5【運用状況】

<更新後>

<参考情報>

基準日: 2022年1月31日

基準価額・純資産の推移



※基準価額は信託報酬控除後のものです。後述の信託報酬に関する記載をご覧ください。

※基準価額は1万口当たりで表示しています。※設定日は2019年4月9日です。

分配の推移

(1万口当たり、税引前)

決算期	決算日	分配金
第2期	2020/01/07	100円
第3期	2020/07/07	100円
第4期	2021/01/07	100円
第5期	2021/07/07	100円
第6期	2022/01/07	100円
設定来累計		500円

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。

主要な資産の状況

ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行っており、マザーファンドの資産の状況を記載しています。

※比率は、純資産総額に占める割合です。業種は、GICS（世界産業分類基準）セクター分類です。

※グループ分類は、アリアンツGI*による分類です。*アリアンツGIの担当運用チームは2022年7月25日にヴォヤIMに移管されております。

● 資産構成

資産	比率
株式	97.6%
短期金融資産等	2.4%
合計	100.0%

※株式にはREITを含む場合があります。

※短期金融資産等は、組入有価証券以外のものです。

● グループ別構成

グループ	グループ	比率
グループ1	ロケット・衛星開発製造、打ち上げサービス	27.5%
グループ2	宇宙データの利用サービス	29.6%
グループ3	宇宙ビジネスを支える関連ビジネス	38.9%
グループ4	新たな宇宙ビジネス	1.7%

● 組入上位10カ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	83.7%
2	日本	6.8%
3	スウェーデン	4.0%
4	フランス	2.0%
5	イギリス	1.1%
6		
7		
8		
9		
10		

● 組入上位10業種

	業種	比率
1	情報技術	41.1%
2	資本財・サービス	29.2%
3	一般消費財・サービス	7.8%
4	コミュニケーション・サービス	5.5%
5	素材	5.4%
6	金融	3.8%
7	不動産	2.8%
8	ヘルスケア	2.1%
9		
10		

次ページへ続く

- ・最新の運用実績は、委託会社のホームページでご確認いただけます。
- ・ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

(3) 投資顧問会社

- ・名称 Voya Investment Management Co. LLC
- ・資本金の額 非公開
- ・事業の内容 投資運用業務を営んでいます。

2【関係業務の概要】

<訂正前>

受託会社は、信託財産の保管・管理等を行います。また、当ファンドにかかる信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。

販売会社は、募集・販売の取扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払い等を行います。

投資顧問会社は、委託会社からマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託を受け、運用の指図を行います。また、同社は、運用の指図権限の一部をアリアンツ・グローバル・インベスターズ・アジア・パシフィック・リミテッドおよびアリアンツ・グローバル・インベスターズGmbHに再委託します。

<訂正後>

受託会社は、信託財産の保管・管理等を行います。また、当ファンドにかかる信託事務の一部につき日本マスタートラスト信託銀行株式会社に委託することがあります。

販売会社は、募集・販売の取扱い、一部解約事務および収益分配金・解約金・償還金の支払い等を行います。

投資顧問会社は、委託会社からマザーファンドの運用の指図に関する権限の委託を受け、運用の指図を行います。